

しても、ここに軽減剤の今後の研究の方向が示されていると言えるだろう。

pheromone, insect growth regulator (IGR) (昆虫生長制御剤), 幼若ホルモン拮抗剤のような薬剤を“biorational”とよび、生物学的に成功した結果を化学的に追いかけることを biorational design と称したのは適切であった。天然の幼若ホルモン JH-1 の構造を決め、幼若ホルモン類似の構造で活性をもった物質 (IGR) を開発したのが, methoprene である。

IGR として、幼若ホルモンに拮抗する物質が適当であろうということは、研究者の間で一致していた。ホルモンの投与は、ホルモン過剰で、ホルモン拮抗剤はホルモンの機能低下で、共にこん虫を死に至らしめるものである。

以上に述べたことは、画期的な農薬創製へのアプローチに、少々光をあててみたものである。社会や環境からのニーズに応えて、今日の知識をすぐれた特異的な農薬へのアプローチに向け直すよい機会である。過去の輝かしい成果をあ

げた方法から、いままでに省みられなかった新しいアプローチへ、こん虫や植物の科学の新知識を自由に導入してゆきたい。

こう語ってくると、1945年 Aldous Huxley が語った言葉が、まことに適切であることがよく分かる。

「真実というのは、腹話術の人形のようなものである。賢者の膝に坐れば名言を吐くが、そうでないときは黙っているか、たわごとしか言わない」

Contemporary frontiers in chemical pesticide research.

Menn J. J.

J. Agric. Food Chem. 28, 2~8, 1980.
Metabolic fate of the N,N-dialkyl carbamoyl moiety of thiocarbamate herbicides in rats and corn.

Hubbell J. P., Casida J. E.

J. Agric. Food Chem.

25 (2), 404~413, 1977.

(鈴木照磨)

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農林水産省農蚕園芸局植物防疫課
昭和 55 年 1 月 1 日 ~ 4 月 30 日

種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物 (場 所)	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	使用量 〔10 a 当り〕	使用方法	登録会社
DCM U・D PA除 草剤	アイビ ックス 粒剤	2,2-ジクロ ロプロピオン 酸ナトリウム ……10% 3-(3,4- ジクロルフエ	粒 剤	桑	畑地一年 生雑草		全 土 壌 〔砂質土 壌を除 く〕	春 切 後 〔雑草発 生前〕 夏 切 後 〔雑草発 生前〕	3~5 kg 3 kg	土壌全面処 理.	石原産業 (株)

種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物 (場 所)	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	使用量 〔10 a 当り〕	使用 方法	登録会社
DCM U・D PA 除 草剤 (つづき)		ニル) - 1, 1 - ジメチル尿 素 3 %									
オキサ ジアゾ ン・ブ タクロ ール除 草剤	デルカ ット乳 剤	5-ターシャ リブチル-3 -(2,4-ジ クロル-5- イソプロポキ シフェニル) -1,3,4-オ キサジアゾリ ン-2-オン 8 % 2-クロル- 2,6-ジエチ ル-N-(ブ トキシメチル) アセトアニリ ド 12 %	乳 剤	水 稲	稚 苗 移 植	ノビエそ の他水田 一年生雑 草および マツバイ、	全域の普 通期栽培 地帯。 〔暖地の 早期栽 培地帯 を含む〕	砂壤土～ 埴土 〔減水深 2cm/ 日以下〕	植代直前 ～直後 〔田植前 1～3 日〕	500 cc 散布液 量(原 液散布) 500cc 〔散布時の 水深は3 ～5cm〕	日産化学 工業株
				普通 移 植				砂壤土～ 埴土 〔減水深 2cm/ 日以下〕			

新 登 録 生 育 調 節 剤 一 覧

農林水産省農蚕園芸局植物防疫課
昭和 55 年 1 月 1 日 ～ 4 月 30 日

種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物	使用目的	使用時期	使用回数	希 釈 倍 数	使用 方法	登録会社
植物成 長調整 剤	トマト ラン液 剤	4-クロル- 2-ヒドロキ シメチルフェ ノキシ酢酸ナ トリウム 9.8 %	液 剤	ト マ ト	着果増進、 果実の肥 大促進。	1 花房の うち 3 ～ 4 花が開 花した時 期。	1 花房に つき 1 回	冬期：330 ～ 500 倍 春期・秋期： 500 ～ 660 倍 夏期：1000 倍	花 房 散 布 〔 所定濃度 水溶液を 1 花房当 り約 1cc 散布。〕	塩野義製 薬(株)
				な す	着果増進、 果実の肥 大促進。	1 ～ 4, 5 番花に対 して各花	1 花につ き 1 回	冬期：100 ～ 200 倍 春秋期：	花 蕾 散 布 〔 所定濃度 水溶液を〕	